



## 独創のイカダで港からの旅立ち

### 日比野 克彦…ワークショップ

8月24・25日、現代アートの旗手、日比野克彦さんの作品展（市美術博物館で開催中）に合わせ、自身の企画によるワークショップが大津島の馬島で開催され200人の応募者から抽選で選ばれた約70人が作品作りに取り組みました。

参加者は3グループに分かれ、日比野さんから与えられた、港町徳山から連想された「港からの旅立ち」をテーマに掲げ「独創的なイカダづくり」に取り組みました。

リーダーを中心にイカダのイメージをふくらませながら、交代で樺島を訪れるなどしてテーマについて考えをまとめ上げ、孟宗竹のイカダをつくり上げました。

完成した三つのイカダが道越の海岸に浮かべられ、押し相撲大会、竹や海の石で作られた打楽器の合奏、無人島で起こした火を畏敬の念を込め海に投げ入れる儀式などが発表されると参加者の家族らが盛んに拍手を送っていました。

このワークショップの開催にあたっては、地元大津島地区の皆さんが、孟宗竹の切りだし・イカダの組み立て・樺島への参加者の輸送などの準備・運営を積極的に応援・協力されました。皆さん暑いなか大変お疲れ様でした。



## 伝えよう災害、考えよう防災

8月23日（金）馬島公民館で山口大学工学部助手工学博士の瀧本浩一さんを講師に、自主防災組織育成講演会が開催されました。

この講演会は行政機関の対応だけでは限界のある大規模災害発生時に対応出来るように、自主的な防災活動を行う体制づくりの一環として行われたもので、地元自治会の関係者50名余、が熱心に聴講しました。

徳山市では、台風や地震などの災害時での自主防災組織を自治会単位で結成して活動の円滑化を図りたいとのことで、今後組織化へ向けての展開が予測されます。



### ◎ごみ収集方法の一部変更

ふとん類（座布団・枕・子供用のふとん等の小さな物は除く）収集日の変更  
従来、大津島地区では燃やせるごみとしてふとん類も一緒に（混合して）収集していましたが、ふとん類はそのままでは焼却することが出来ず裁断作業（他の燃やせるごみと分別してから）が必要となります。

この裁断作業を円滑に行うためにふとん類の収集を8月から第4水曜日に行っておりますのでご協力下さい。

—したがしまして—

※第4水曜日は資源回収とふとん類（座布団・枕・子供用のふとん等の小さな物は除く）の収集日となります。